

磯子区教育研究会

1 研究主題

「社会に開かれた教育課程の創造と実践をめざして」

～育成をめざす資質・能力に視点をあてた授業実践とカリキュラムマネジメント～

2 研究主題について

今年度より新学習指導要領が完全実施され、各学校ではカリキュラムマネジメントに基づき、新しい教育課程を編成し、資質・能力の育成や主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業の研究、改善に努めているところである。

また、経験の浅い教職員の割合が多く占める本市においては、教職員の授業力・指導力の向上を図るとともに、働き方改革の理念を踏まえながら、効率的・効果的な研究推進の方法を志向することも肝要である。

このような現状を踏まえ、研究主題を「社会に開かれた教育課程の創造と実践をめざして」～育成をめざす資質・能力に視点をあてた授業実践とカリキュラムマネジメント～と設定し、各学校で編成した教育課程の情報を共有しながら実践研究を積み重ね、教育課程の運営・改善に努めていく。

3 研究方法と活動報告

研究主題に迫るために次の3つの方針を軸に研究活動を進めてきた。

方針1 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、育成をめざす資質・能力に視点をあてた研究を推進する。

方針2 各研究会における実践提案や研修を通して、自校の教育過程運営改善に生かすようにする。

方針3 働き方改革の理念と経験の浅い教職員の人材育成の理念の双方を踏まえて研究を推進する。

コロナ禍の影響で、参加人数の制限やオンライン研究会、教室から体育館への会場変更、消毒、換気の徹底など様々な感染症対策を講じながら研究会を開催、運営してきた。

研究会主催行事については、区校長会と連携を図りながら、それぞれの事業の意義やあり方について検討し、実施の可否を判断した。その結果、区水泳記録会は、昨年度末に熱中症予防の観点から中止を決定し、また、区球技大会、区児童音楽会は感染拡大防止の観点から中止となった。

区児童音楽会については、近隣校同士がそれぞれの学校の演奏をDVDに録画し、お互いに鑑賞し合うという形で実施した学校もあった。区巡回図工展、区読書感想画コンクール、区読書感想文コンルールは実施され、各校の学習の成果を発表する場となった。

4 研究の成果と課題

今年度の活動を振り返ると、資質・能力の育成とそのために必要な主体的・対話的で深い学びを実現する授業のあり方や三観点に基づいた妥当性、信頼性のある評価のあり方が検討され、各校のカリキュラムマネジメントに寄与することができたのではないかと考える。

コロナ禍の中においても、それぞれの研究部会が研究のあゆみを止めることなく、工夫しながら研究活動を進めてきたことは、子どもたちの学びを深める上で、また、我々教員の指導力、授業力を高める上でも、大変意義深いものであったと思う。

コロナが終息するまで、実技を伴う学習活動への影響が懸念されるが、今年度同様に、よりよい研究会のもち方を探るとともに、カリキュラムマネジメントの推進と研究のさらなる充実に努めていきたい。